



## 2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <https://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 由実子

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 菊本 健司

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	837	0.8	26	44.3	37	2.4	31	77.9
2023年9月期第2四半期	843	32.8	47		38		143	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	8.09	
2023年9月期第2四半期	41.91	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	1,476	44	2.9	11.29
2023年9月期	1,577	13	0.7	2.79

(参考)自己資本 2024年9月期第2四半期 42百万円 2023年9月期 10百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		0.00	0.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	12.3	120	111.5	160	388.4	88	15.4	22.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	3,979,100 株	2023年9月期	3,979,100 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	50,364 株	2023年9月期	50,364 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	3,928,736 株	2023年9月期2Q	3,427,865 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(持分法損益等)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9
(1株当たりの情報)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
(継続企業の前提に関する重要事象等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年10月1日～2024年3月31日)における我が国経済において、円安を背景としたインバウンド需要や個人消費の改善により回復が緩やかに継続しております。また一方でウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化により継続してエネルギー価格等の高騰を背景とした景気下押しリスクがあり、依然として先行き不透明な情勢が続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、行動制限や営業制限が解除されたことにより回復傾向にある一方で、労働力不足の深刻化や原材料・食材・エネルギー等の仕入価格の高騰といった店舗運営コストの上昇が続いており、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のもと、当社は、創業時より一貫し、外食企業を中心とした顧客に対し「情報システムインフラ企業」として、利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム「Timely」を主力に「食材費」・「人件費」の二大原価の透明化をパッケージシステムとクラウド型、ハイブリッドクラウド型で提供するとともに、業界に特化したPOSシステム、オーダーリングシステム、配膳ロボットなどの周辺サービス等を通してトータルソリューションシステムを提供しております。

当第2四半期累計期間は、当社主要顧客の外食市場におきましても、行動制限や営業制限が解除されたことにより回復傾向にありますが、労働力不足の深刻化や、資源・原材料価格の高騰による仕入価格や物流費等の上昇、物価上昇による節約志向の高まりなどから、依然として厳しい経営環境が継続しておりシステム投資控えの状況下であるものの、ほぼ予定通りのシステム機器や配膳ロボットなどの周辺機器の設置により、売上高837,061千円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益26,246千円(前年同四半期比44.3%減)、経常利益37,312千円(前年同四半期比2.4%減)、四半期純利益31,800千円(前年同四半期比77.9%減)となりました。

事業部門別の経営成績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

また、前事業年度までシステム機器事業に含んでいたコロナ禍対策製品関連事業の売上は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによりコロナ禍対策製品としての計上を中止し、省人化・省力化対策製品として事業部門を見直したことにより、第1四半期会計期間から周辺サービス事業に売上を計上しております。

#### ①ASP/パッケージシステム事業

当事業におきましては、新規、既存顧客へ「飲食店経営管理システム(R)」「自動発注システム」等のソフトウェアなどの販売および月額サービスの提供拡大を行いました。当該顧客のソフトウェア投資控えもあり、売上高は349,683千円(前年同四半期比26.8%減)となりました。

なお、月額サービス料は、コロナ禍の影響による価格調整や閉店もあり、6ヶ月累計で339,239千円(前年同四半期比3.3%減)となりました。

#### ②システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムの販売において、半導体不足などの影響で遅れていた納品が再開したこと、新規、既存顧客ともに導入店舗が増加しており、売上高は397,935千円(前年同四半期比23.5%増)となりました。

#### ③周辺サービス事業

当事業におきましては、保守インテグレーション、サプライ製品に加えて、配膳ロボット、掃除ロボット、案内ロボットなどのAIロボットの売上を当事業計上にしたため大きく増収しており、売上高は89,441千円(前年同四半期比299.57%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財務状態の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、1,476,618千円となり、前事業年度末に比べ100,677千円減少いたしました。これは主に、売掛金126,973千円、現金及び預金7,649千円などの減少によるものであります。

負債合計は1,432,239千円となり、前事業年度末に比べ131,692千円減少いたしました。これは主に長期借入金54,006千円、短期借入金51,673千円の減少などによるものであります。

純資産は44,378千円となり、前事業年度末に比べ31,015千円増加いたしました。これは、四半期純利益31,800千円の計上により利益剰余金が31,800千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動、投資活動及び財務活動により、前事業年度末に比べ1,149千円減少し、当第2四半期会計期間末には110,539千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、220,797千円(前年同四半期は得られた資金15,319千円)となりました。これは主に、減価償却費97,799千円の計上、売上債権の増加による126,973千円などの資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、74,495千円(前年同四半期は得られた資金83,073千円)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入6,500千円による資金の増加の一方で、無形固定資産の取得による支出77,421千円などによる資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、147,450千円(前年同四半期は使用した資金92,606千円)となりました。これは主に、短期借入れによる収入50,000千円による資金の増加の一方で、短期借入金の返済による支出101,673千円、長期借入金の返済による支出68,589千円などによる資金の減少によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービス/パッケージシステム「飲食店経営管理システム(R)」、「自動発注システム」を核とした食材ロス/コスト削減サービス提供や、勤怠集計管理システム「Timely」、外食産業へのワンストップソリューションサービスの経験を生かして製品化したカラオケチェーン店向け予約管理システム「カラオケショット」、在庫管理システム「棚卸し探偵団」、配膳ロボットや掃除ロボットなどのAIロボットで水平展開も行いつつ、人手不足によりニーズが高まっている2020年6月に特許を取得した外食産業用のセミセルフおよびセルフレジ「セルフショット(R)」の提供により、DX化を通して食文化の発展に貢献してまいります。

2024年9月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、本日公表いたしました「2024年9月期第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2024年9月期の通期業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました「2023年9月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した内容から変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,188	110,539
売掛金	311,087	184,113
商品	290,469	331,316
貯蔵品	8,260	5,929
前渡金	605	—
前払費用	29,891	22,299
短期貸付金	16,200	16,200
未収入金	45,943	45,918
その他	3,625	10,039
貸倒引当金	△85,764	△76,205
流動資産合計	738,508	650,150
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	285,893	281,904
構築物(純額)	9,163	8,388
工具、器具及び備品(純額)	31,704	28,062
土地	58,660	58,660
リース資産(純額)	6,282	3,338
有形固定資産合計	391,704	380,353
無形固定資産		
ソフトウェア	219,443	225,743
ソフトウェア仮勘定	23,595	19,980
その他	2,560	2,514
無形固定資産合計	245,600	248,238
投資その他の資産		
投資有価証券	619	770
関係会社株式	0	0
長期前払費用	134,303	131,777
敷金及び保証金	58,425	57,790
長期未収入金	122,619	122,536
その他	6,010	6,010
貸倒引当金	△122,619	△122,536
投資その他の資産合計	199,358	196,348
固定資産合計	836,663	824,941
繰延資産		
社債発行費	2,123	1,527
繰延資産合計	2,123	1,527
資産合計	1,577,296	1,476,618

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,885	87,811
短期借入金	336,634	284,961
1年内償還予定の社債	41,500	31,500
1年内返済予定の長期借入金	126,754	112,171
リース債務	6,685	1,775
未払金	21,854	22,003
未払費用	7,045	7,423
未払法人税等	16,569	12,585
未払消費税等	50,074	59,594
預り金	16,143	12,844
前受金	85,985	62,059
賞与引当金	—	5,200
流動負債合計	754,131	699,929
固定負債		
社債	45,000	34,500
長期借入金	732,485	678,479
リース債務	1,985	1,098
退職給付引当金	28,130	16,032
資産除去債務	2,200	2,200
固定負債合計	809,801	732,310
負債合計	1,563,932	1,432,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	905,311	905,311
資本剰余金	695,172	695,172
利益剰余金	△1,551,852	△1,520,051
自己株式	△37,904	△37,904
株主資本合計	10,727	42,527
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	236	341
評価・換算差額等合計	236	341
新株予約権	2,400	1,510
純資産合計	13,363	44,378
負債純資産合計	1,577,296	1,476,618

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	843,629	837,061
売上原価	450,070	521,904
売上総利益	393,558	315,156
販売費及び一般管理費	346,426	288,909
営業利益	47,132	26,246
営業外収益		
受取利息	29	17
助成金収入	2,639	—
受取保険金	—	17,405
その他	2,394	2,340
営業外収益合計	5,063	19,763
営業外費用		
支払利息	6,795	6,706
支払保証料	521	610
支払補償費	1,080	514
支払手数料	500	266
株式交付費	4,436	—
その他	616	599
営業外費用合計	13,949	8,698
経常利益	38,245	37,312
特別利益		
固定資産売却益	131,690	—
特別利益合計	131,690	—
特別損失		
土地売却損	22,177	—
特別損失合計	22,177	—
税引前四半期純利益	147,758	37,312
法人税、住民税及び事業税	4,076	5,557
法人税等調整額	△8	△46
法人税等合計	4,067	5,511
四半期純利益	143,690	31,800



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	147,758	37,312
減価償却費	77,609	97,799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,976	△9,640
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△472	△12,097
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	5,200
受取利息及び受取配当金	△29	△17
支払利息	6,795	6,706
支払手数料	500	266
株式交付費	4,436	—
固定資産売却益	△131,690	—
土地売却損	22,177	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△107,571	126,973
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△122,306	△38,515
仕入債務の増減額 (△は減少)	70,002	42,925
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11,799	1,774
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	38,796	△33,050
その他	15,497	9,932
小計	30,327	235,569
利息及び配当金の受取額	29	17
利息の支払額	△6,884	△6,636
法人税等の支払額	△8,153	△8,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,319	220,797
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	6,500
有形固定資産の取得による支出	△1,601	△6,735
有形固定資産の売却による収入	186,363	—
無形固定資産の取得による支出	△68,306	△77,421
敷金及び保証金の差入による支出	△36,000	△365
敷金及び保証金の返還による収入	—	1,000
その他	2,617	2,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,073	△74,495
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	△49,964	△101,673
長期借入金の返済による支出	△88,176	△68,589
リース債務の返済による支出	△6,891	△5,798
社債の償還による支出	△20,500	△20,500
株式の発行による収入	73,048	—
配当金の支払額	△122	—
その他	—	△890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,606	△147,450
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,786	△1,149
現金及び現金同等物の期首残高	93,549	111,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,335	110,539

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	0千円	0千円
持分法を適用した場合の投資の金額	—	—
	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
持分法を適用した場合の投資利益又は投資 損失(△)の金額	324千円	—千円

※前事業年度末において持分法適用関連会社であるビジネスロボット株式会社の株式評価について、金融商品に関する会計基準に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損19,999千円を特別損失に計上いたしました。これによりビジネスロボット株式会社は、持分法損益等の注記から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

「II 当第2四半期累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

当社は「ASPサービス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は従来、「ASPサービス事業」・「ホテル関連事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期会計期間より「ASPサービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、ホテルを売却したことで、「ホテル関連事業」の売上高及び利益の重要性が乏しくなり、また、当社の事業展開、経営資源配分、経営管理体制の実態などの観点から、「ASPサービス事業」を一体的な事業と捉えることが合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ASPサービス事業	ホテル関連事業	
ソフトウェアの販売	184,322	—	184,322
ASP初期導入サービス	6,868	—	6,868
利用料等の月額サービス	355,054	—	355,054
飲食店向けシステム関連機器の販売	211,599	—	211,599
その他の機器の直接販売	42,592	—	42,592
宿泊等のホテル及び飲食事業関連サービス	—	21,050	21,050
その他	22,141	—	22,141
顧客との契約から生じる収益	822,578	21,050	843,629
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	822,578	21,050	843,629

(注) その他の区分は、サプライ品、機器修理費用を含んでおります。

当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ASPサービス事業		
ソフトウェアの販売	59,269		59,269
ASP初期導入サービス	17,510		17,510
利用料等の月額サービス	343,023		343,023
飲食店向けシステム関連機器の販売	327,815		327,815
その他の機器の直接販売	66,100		66,100
その他	23,341		23,341
顧客との契約から生じる収益	837,061		837,061
その他の収益	—		—
外部顧客への売上高	837,061		837,061

(注) 当社は、これまで、報告セグメントの「ASPサービス事業」及び「ホテル関連事業」の2つにセグメントに区分しておりましたが、前事業年度に「ホテル関連事業」に含まれておりましたホテル事業の事業譲渡を行ったことにより、第1四半期会計期間より「ASPサービス事業」の単一セグメントに変更しております。

## (1株当たりの情報)

1株当たり四半期純利益算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり四半期純利益	41円91銭	8円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	143,690	31,800
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	143,690	31,800
普通株式の期中平均株式数(株)	3,427,865	3,928,736
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

当第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの希薄化効果を有しないため1株当たり四半期純利益を記載しておりません。

2. 信託が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。